

宮城県感染症発生動向調査情報

令和元年7月18日発行

2019.7.8～2019.7.14 第28週一

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							宮城県(含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第25週	第26週	第27週	第28週
水痘	1 0.25	1 0.10			1 0.33	1 0.20		11 0.41	15 0.26	921	レ	○	○	レ
流行性耳下腺炎	2 0.50	4 0.40			2 0.67			3 0.11	11 0.19	147				
感染性胃腸炎	3 0.75	36 3.60	10 2.00	10 5.00	7 2.33	14 2.80		190 7.04	270 4.66	9,784	◎	◎	◎	◎
手足口病	86 21.50	64 6.40	12 2.40		4 1.33	19 3.80		241 8.93	426 7.34	808		○	◎	◎
伝染性紅斑		7 0.70	7 1.40	1 0.50		11 2.20	2 1.00	3 0.11	31 0.53	2,553	○	○	レ	レ
突発性発しん	4 1.00	4 0.40	5 1.00	1 0.50	2 0.67	6 1.20		22 0.81	44 0.76	798	○	○	○	○
ヘルパンギーナ	7 1.75	16 1.60	5 1.00		5 1.67	12 2.40		29 1.07	74 1.28	162			○	○
インフルエンザ	1 0.14							1 0.02	2 0.02	30,392				
咽頭結膜熱	1 0.25	6 0.60		2 1.00		3 0.60		18 0.67	30 0.52	464	○	○	レ	○
流行性角結膜炎								4 0.67	4 0.33	75				
急性出血性結膜炎									0 0.00	4				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43 10.75	17 1.70	4 0.80	1 0.50	6 2.00	96 19.20	1 0.50	61 2.26	229 3.95	5,685	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎							4 4.00		4 0.33	101				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	12 3.00	10 1.00				1 0.20		28 1.04	51 0.88	865	○	◎	○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	29				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)			1				6	2					
	川崎病								1		◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	不明発しん症								7					

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告)はありません。

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

石巻管内 男性1名
塩釜管内 女性1名
気仙沼管内 男性1名
仙台管内 男性1名
結核(無症状病原体保有者)
仙南管内 女性1名
仙台管内 女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

仙台管内 男性1名, 女性2名(HUS)
腸管出血性大腸菌感染症(O91)
大崎管内 女性1名

4類感染症: レジオネラ症

仙台管内 男性2名

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性1名
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
仙台管内 男児1名*(第17週)
侵襲性インフルエンザ菌感染症
仙台管内 女性1名(第27週)
侵襲性肺炎球菌感染症
石巻管内 女性1名(第27週)
仙台管内 女児1名*(第26週)
梅毒
仙台管内 男性1名
百日咳
仙台管内 男性1名

※男児, 女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[手足口病]
仙南, 塩釜, 仙台管内で警報レベルを超えました。
[伝染性紅斑]
大崎, 石巻, 気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
仙南, 石巻管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第25週採取分 (6.17～6.23)	第26週採取分 (6.24～6.30)	第27週採取分 (7.1～7.7)
RSウイルス	1件	3件	3件
ヒトメタニューモウイルス	3件	1件	0件
ライノウイルス	0件	1件	0件
サイトメガロウイルス	0件	0件	1件
パラインフルエンザウイルス3型	6件	5件	0件
パラインフルエンザウイルス4型	0件	1件	2件

4. 今週のコメント

【手足口病】

乳幼児を中心に、手や足、口の中などに水疱性の発疹ができる急性ウイルス性の感染症です。今週も県内の患者報告数は増加しており、警報開始基準値の5を超えたため、県では注意喚起を行いました。今後流行期を迎えることから、手洗いを徹底するなど予防対策に努めてください。

【腸管出血性大腸菌感染症】

ベロ毒素を産生する大腸菌が原因となり、腹痛、水溶性下痢及び血便などを引き起こす感染症です。県内では今週4例の報告があり、患者報告数は18例となりました。小児や高齢者など抵抗力が落ちている人では、下痢などの他にも溶血性尿毒症候群(HUS)を引き起こし重症化することがあります。今週の報告例のうち2例は、HUSを伴うものでした。流行シーズンに入りましたので、日頃からの予防に努めて下さい。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

